

母子看護学特論

単位数：2単位

- 福田 誠司：臨床看護学講座教授
- 秋鹿 都子：臨床看護学講座准教授
- 橋本 美幸：臨床看護学講座准教授

1. 科目の教育方針

ライフサイクルと生涯発達の視点に立って、母子関係および家族関係に関連する理論を学び、特に健康に問題を持つ小児と家族の特性、小児の健康問題に関する最新の知見や母子保健・福祉施策を通して母子および家族の健全な発達を支援する方策について学習する。

2. 教育目標

- 1) 青年期の性に対する意識と行動、妊娠中の胎児認知、母性意識の発達が妊娠・出産及びその後の母子の健康に与える影響について考察し、母子および家族の健全な関係発展に向けての看護介入の方法を学習する。
- 2) 小児とその家族を取り巻く現代の社会状況を多面的に理解するとともに、心理的側面からの理解を深め、健康に問題をもつ小児の成長・発達を支援していくために、諸理論を検討しながら、看護の果たす役割と援助方法について学習する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

- 1) 講義および学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。
- 2) 母子および家族の健全な発達を支援する立場から方法論について議論を深める。

【評価】

講義への参加状況、プレゼンテーション内容、レポートにて総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

テキストは使用しない。

- 1) ルヴァ・ルービン著：新道幸恵、後藤桂子訳 母性論 母性の主観的体験. 医学書院 1997
- 2) 上田礼子：生涯人間発達学. 改訂2版 三輪書店 2005
- 3) 堀内成子監修：助産師の意思決定. エルゼビア・ジャパン 2006
- 4) 武田鉄郎：腎疾患児の自己効力感と対処行動. 主観的健康統制感との関連 入院している中学部生徒を対象に 国立特殊教育総合研究所研究紀要 27 巻 1-9, 2000

5. 教育内容

回	内 容	講師
1	日本における母子保健の現状	福田
2	母性論 1 (ルービンがとらえる母性の対象)	橋本、秋鹿
3	母性論 2 (妊婦の理解とその看護)	橋本、秋鹿
4	母性論 3 (褥婦の理解とその看護)	橋本、秋鹿
5	妊娠・出産期における女性への看護 (分娩の安全を確保するための取り組み)	橋本、秋鹿
6	育児期にある女性への看護 (産後のメンタルヘルス)	橋本、秋鹿
7	子どもの貧困とその背景	秋鹿
8	子どものこころのケアと育児支援	秋鹿、福田
9	小児医療における研究の動向	福田
10	小児医療における研究の動向	福田
11	母子の健康と環境	福田、秋鹿、
12	母子看護にみる看護の原点	福田、秋鹿、
13	アレルギーをもつ子どもと家族への看護	秋鹿
14	事例に基づく学習-1	福田、秋鹿、 橋本
15	事例に基づく学習-2	福田、秋鹿、 橋本